

第6章 整備目標

4つの基本方針を基に、今後推進していく必要がある8つの重点施策について、各取組項目の具体的な年次計画や整備目標を定めます。

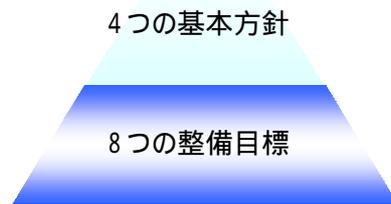
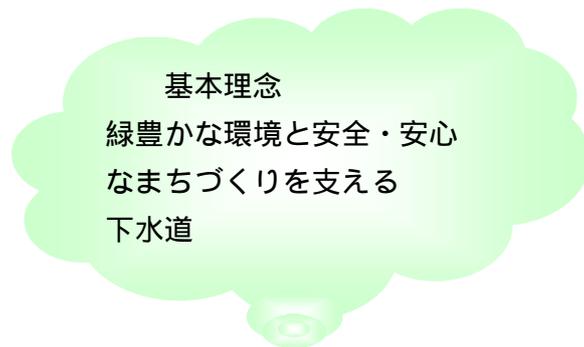
この整備目標に基づき、事業の着実な推進に努め、基本理念である『緑豊かな環境と安全・安心なまちづくりを支える下水道』の実現を目指します。

基本方針 安全・安心
整備目標
浸水対策
地震対策

基本方針 環境
整備目標
快適な生活環境の創造
水質環境の改善
資源・空間の有効利用

基本方針 安定・維持向上
整備目標
維持管理
改築・更新

基本方針 経営
整備目標
経営健全化



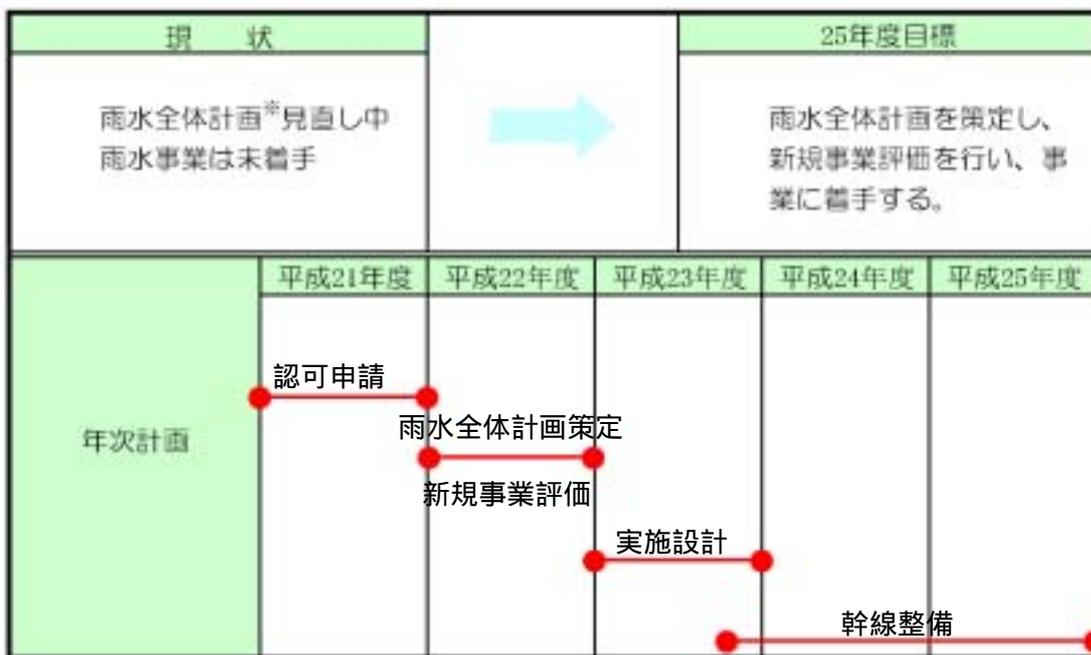
基本方針 安全・安心

安全な都市づくりにより市民の生命と財産を守ります。

整備目標 浸水対策



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間



中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

短期計画に引き続き、雨水幹線の整備（工事）を実施します。

また、雨水本管整備と平行し、貯留・浸透施設の配置検討を行います。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

幹線整備後に、枝線の面整備を行います。

また、ハード対策として、雨水の貯留浸透施設の整備やソフト対策としての住民への大雨に対しての浸水危険度や避難方法等の情報提供を行います。



雨水貯留浸透槽施工写真（他市）

整備目標 地震対策



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状		25年度目標				
下水道地震対策緊急整備事業 計画立案		重要な幹線耐震化率 34%				
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	調査・設計					
		重要な幹線の耐震化工事			L=10.5km	

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

重要な幹線耐震化率

P.9 より $10.5\text{km} / 30.7\text{km} = 34\%$

短期計画に引き続き、重要な幹線の耐震化工事を行っていきます。

なお、耐震化優先度を考慮し、対象工事路線を決定します。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

重要な幹線及びその他枝線については、改築・更新事業と連携し、老朽管の更新時に耐震性能を有した管路更新を行います。



管口耐震化施工写真（他市）

基本方針 環 境

環境保全をより一層進め、環境と調和した循環型社会を形成します。

整備目標 快適な生活環境の創造



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状		25年度目標				
下水道普及率99.90%		下水道普及率100%				
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	調査・設計					
		未普及地域の下水道整備				

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

都市計画道路整備等に伴い、一部街路にかかる既設污水管の布設替及び新設を行います。

また、各家庭からの排水を速やかに下水道へ接続できるよう、普及啓発活動を行います。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

中期計画から引き続き、各家庭からの排水を速やかに下水道へ接続できるよう、普及啓発活動を行います。



污水枘写真

基本方針 環 境

整備目標 水質環境の改善



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状							25年度目標
環境基準の達成		→					水質の一層向上
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	●-----定期的な水質調査の実施-----●						

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

短期計画から引き続き、定期的な水質調査の実施、生活排水に関する啓発活動を行い、身近に親しまれる水辺環境の維持に努めます。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

清瀬水再生センターによる高度処理の普及により、水質が一層向上されることが期待されますので、長期計画においても、生活排水に関する啓発活動を行い、水質調査を継続します。



柳瀬川

基本方針 環 境

整備目標 資源・空間の有効利用



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状							25年度目標	
下水処理水の利用 清瀬水再生センターの上部利用		➔					下水処理水の利用促進 清瀬水再生センターの上部利用 の継続	
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	下水処理水の利用促進 清瀬水再生センターの上部利用の継続							

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

下水処理水の利用促進、清瀬水再生センターの上部利用を継続します。

また、下水汚泥を活用した製品の有効利用について、下水道事業に限らず、他の関連事業においても積極的に利用促進し、資源の有効利用に努めます。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

中期計画に引き続き、下水処理水の利用促進、清瀬水再生センターの上部利用の継続、下水汚泥を活用した製品の有効利用に取り組みます。



下水汚泥を有効利用したブロック
（清瀬市立第六小学校）

基本方針 安定・維持向上

下水道施設の持続的な機能確保による安定的なサービスを提供します。

整備目標 維持管理



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状						25年度目標
定期的な管路内清掃による 点検・調査	→					継続的に管路内清掃を行い、 未然に異常箇所を把握
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	管路内清掃、点検、調査の実施					

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

短期計画から引き続き、管路内清掃による点検・調査を実施し、異常箇所を早期に確認し、道路陥没等の未然防止に努めます。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

下水道管路布設後、耐用年数 50 年を経過する路線も発生してくるため、管路内の劣化状況をテレビカメラ調査等により把握し、今後の改築・更新計画を策定するための基礎資料を作成します。

また、点検・調査により異常箇所が確認された場合は、下水道台帳システムに整理していきます。



テレビカメラ調査状況写真

基本方針 安定・維持向上

整備目標 改築・更新

短期計画（平成 21～25 年度）5 年間



現 状		25年度目標				
改築・更新は未実施		点検・調査結果を踏まえ、必要に応じて補修				
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	必要に応じて補修					

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

点検・調査により、管路内に異常が発生した場合には部分補修を行います。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

長期計画の前半では、定期的な点検・調査、下水道台帳システムによる補修履歴を基に、管路内の劣化を判定し、今後の改築・更新計画を策定します。

また、劣化状況による優先度を判定し、事業量のピークを平準化します。

施工前



施工後



管更生工法による更新状況（他市）

基本方針 経営

経営の健全化を図り持続的な下水道事業を推進します。

整備目標 経営健全化



短期計画（平成 21～25 年度）5 年間

現 状							25年度目標	
使用料回収率 69.9%		→					使用料回収率 82.0%	
年次計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	●-----● 水洗化率の向上							

中期計画（平成 26～30 年度）5 年間

下水道使用料金の設定・見直しを行います。
また、さらなる行政組織の簡素・効率化を行い、コスト縮減に努めます。

長期計画（平成 31～50 年度）20 年間

中期計画から引き続き、下水道使用料金の適正化を行います。
また、企業会計方式の導入検討を行います。（企業会計方式の導入による財務諸表の作成・活用は、経営の計画性・透明性の向上のためには有効性の高い手段であります。）



清瀬金山緑地公園